

「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」における 特別研究員（PD 等）の育成方針

1 育成方針

本学は、1874 年にアメリカ聖公会の宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が設立した、聖書と英学を教える私塾「立教学校」から始まり、西洋の伝統的なリベラルアーツカレッジをモデルに、現在まで発展してきた。リベラルアーツに基づく教育は、学びを通じて、学ぶ者が＜世界を読み解く力＞を、そして＜世界を変えていく力＞を身につけることができるようになることがある。そのリベラルアーツ教育を支えているのが教員であり、一級線かつ最先端の研究者集団である。本学では、研究拠点としての存在価値を高めることに加え、研究者の創造的な研究活動のための環境整備と研究活性化、社会に還元するための「知」の創造と活用に重点をおいている。なかでも若手研究者の育成については、自立した研究者として国内外で活躍できるよう、大学運営の基本方針に基づき体系的かつ実践的に育成している。

今回「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」制度に基づき、日本学術振興会の特別研究員を雇用し、研究活動のための基盤整備を進める。日本学術振興会特別研究員（PD 等）に、研究に専念できる環境を提供するとともに、指導体制の強化、研究資金の支援、キャリア形成に資する機会の拡充を図る。分野を越えた学際的な交流や、他機関との連携を通じて広い視野と柔軟な発想を育むことを重視し、将来の学術研究を担う人材の育成に取り組む。

2 研究環境

- 図書館および電子ジャーナル・データベース等の学術資源の利用機会の提供
- 学内の共用研究施設の利用機会の提供
- 大学アカウントメールの利用、学内ネットワーク環境の提供、イントラによる学内情報の提供

3 研究推進支援

- 学内研究助成制度への応募資格付与
- 科研費申請サポートプログラムの提供
- 外部資金公募情報や各種セミナー・説明会の開催案内など研究関連情報の提供
- 学内研究会、シンポジウムでの研究発表機会の提供
- 研究倫理教育の受講

4 キャリアパス支援

- 本人の希望・学部・受入研究者の承認を前提とした、授業担当等、教育指導力を培う機会を提供

5 ダイバーシティの確保・女性研究者への支援

- 「立教大学ヒューマン・ディグニティ宣言」に基づき、多様な研究者が活躍できる環境づくりを推進
- ダイバーシティを推進する各種制度（産後産前休暇・育児休職・介護休職等）の利用機会の提供

6 育成方針の見直し

- 本育成方針は、学術環境及び雇用支援事業の変化に応じて、より効果的な支援体制の構築を目指し、適宜見直しを行う。